

家庭学習の充実を図るために

名寄市教育改善プロジェクト学習指導の工夫改善に関する研究グループ

「家庭学習」の現状と意義

北海道及び名寄市の現状～平成25年度全国学力・学習状況調査より

◎北海道では…

- 家で授業の復習をする児童生徒の割合は、小学校で59.1%、中学校で54.3%であり、全国と比較し、小学校で7.7ポイント、中学校で5.7ポイント高い。
- 1日当たり1時間以上勉強する児童生徒の割合は、小学校で50.5%、中学校で62.1%であり、全国と比較し、小学校で12.7ポイント、中学校で6.5ポイント低い。
- 1日当たり3時間以上、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたり（テレビゲーム除く）する児童生徒の割合は、小学校で41.2%、中学校で32.4%であり、全国と比較し、小学校で2.6ポイント、中学校で2.7ポイント高い。
- 1日当たり3時間以上、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム含む）をする児童生徒の割合は、小学校で20.4%、中学校で17.9%であり、全国と比較し、小学校で5.5ポイント、中学校で3.6ポイント高い。
- 1日に7時間以上、9時間より少ない範囲で睡眠をとる児童生徒の割合は、小学校で46.9%、中学校で58.3%であり、全国と比較し、小学校で6.7ポイント低く、中学校で3.2ポイント高い。
- 国語の指導として、家庭学習の課題（宿題）を「よく与えた」学校の割合は、小学校で68.8%、中学校で32.5%であり、全国と比較し、小学校で13.8ポイント、中学校で14.2ポイント低い。
- 算数・数学の指導として、家庭学習の課題（宿題）を「よく与えた」学校の割合は、小学校で72.8%、中学校で42.6%であり、全国と比較し、小学校で11.5ポイント、中学校で8.9ポイント低い。

◎名寄市では…

◇小学校

＜全国と比べて望ましい傾向を示した項目＞

- ・普段（月～金曜日）、午後10時より前に寝る。
- ・家で、学校の授業の予習をしている。
- ・家で、学校の授業の復習をしている。

＜全国と比べて努力を要する傾向を示した項目＞

- ・自分には、よいところがあると思うか。→「そう思う」という割合が低い。
- ・普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム含む）をするか。→「2時間以上」という割合が高い。
- ・学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強（学習塾や家庭教師含む）をするか。→「2時間以上」という割合が低い。

◇中学校

〈全国と比べて望ましい傾向を示した項目〉

- ・読書は好きである。

〈全国と比べて努力を要する傾向を示した項目〉

- ・自分には、よいところがあると思うか。→「そう思う」という割合が低い。
- ・普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム含む）をするか。→「2時間以上」という割合が高い。
- ・学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強（学習塾や家庭教師含む）をするか。→「2時間以上」という割合が低い。
- ・土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強（学習塾や家庭教師含む）をするか。→「2時間以上」という割合が低い。

家庭学習の意義

ここ数年行っている全国学力・学習状況調査（小6国語・算数）について国における分析結果から、概ね次のようなことが言えます。

- 1 家で家庭学習をしている児童生徒ほど国語，算数とも正答率が高い傾向がある。
- 2 家で計画を立てて勉強をしている児童生徒ほど正答率が高い傾向が見られる。
- 3 保護者に対して児童の家庭学習を促すような働きかけをよく行っている学校の方が，家できちんと宿題に取り組む児童の割合が高い傾向がある。

子どもたちの学力は、学校の学習はもとより、宿題や補習，学習規律の確保といった学校全体としての取組に左右されます。また、毎日の学習習慣やTVの視聴時間，睡眠や朝食の状況なども含め、各家庭における望ましい生活リズムの確立も大きく影響しています。

このようなことから、望ましい生活リズムの定着を図り学習習慣を確立するために、「早寝・早起き・朝ご飯」運動を継続するとともに、**家庭学習を授業の内容と関連付けた復習や予習**，習熟の程度に応じた課題などの工夫をしていくことが重要です。家庭学習に取り組むことは、学校での学習内容を何度も繰り返すこととなります。繰り返すことによってわからなかったことがわかるようになる，わかっていたことがさらに深く理解できることが期待され、児童生徒一人一人に確かな学力を身に付けさせることにつながります。

○学習習慣が身に付きます

決めた時間に学習に取り組むようにすると、生活のリズムが整い、学習する習慣が身に付き、自ら進んで学習に取り組む態度が育ちます。そのためには、各学校から出された「家庭学習の手引き」を参考にして学習する内容を具体的に計画し実行させ、実行できたら個に応じて賞賛することが大切です。

○学習内容が定着します

家庭学習では、自分の理解の程度に合わせて繰り返し学習することができます。学習の予習や復習をすることで、学習内容が確実に身に付きます。

○学習意欲が育ちます

家庭学習では、自分の特性や個性をさらに伸ばす学習をすることもできます。やり遂げた満足感、わかる喜び、学ぶ楽しさなどを味わうことで、学習意欲が育まれます。

○自らの力で未来を切り拓く力が育ちます

学習習慣が身に付き、学習内容が定着し、学習意欲が高まることにより、自分の夢や目標を実現するために、様々な課題を自らの力で解決しながら生きていく強い意志をもった人格を形成することが期待されます。

各学校の家庭学習の取組

<小学校>

学 校 名	時 間	内 容
名寄小	毎日 学年×10分+10分	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習；学校からの課題や自由課題・学習塾の宿題。読書は含まない 低学年；学校からの課題中心 中学年；自由課題・学校からの課題（曜日が決まっている） 高学年；基本的に自由課題（実態によっては中学年と同様）
名寄南小	毎日 学年×10分+α	<ul style="list-style-type: none"> 低学年；宿題中心 中学年；宿題+家庭学習（自主的） 高学年；宿題+家庭学習（自主的）
名寄西小	毎日 学年×10分	<ul style="list-style-type: none"> 低学年；宿題 中学年；宿題+家庭学習（自主的） 高学年；家庭学習（自主的）+宿題
名寄東小	毎日 学年×10分	<ul style="list-style-type: none"> 1年；毎日宿題 2年；毎日宿題 3～5年；宿題（月と水と金），家庭学習（火と木） 6年；家庭学習
豊西小	毎日 学年×10分	<ul style="list-style-type: none"> 1～3年生；宿題 4～6年生；宿題・家庭学習
中名寄小	毎日 低学年；30分以上 中学年；45分以上 高学年；60分以上	<ul style="list-style-type: none"> 低学年；宿題+家庭学習（自主的） 中学年；宿題+家庭学習（自主的） 高学年；宿題+家庭学習（自主的）
智恵文小	毎日 低学年；10～30分 中学年；30～60分 高学年；60～90分	<ul style="list-style-type: none"> 低学年；宿題+家庭学習（自主的） 中学年；宿題+家庭学習（自主的） 高学年；宿題+家庭学習（自主的）

風連中央小	毎日 学年×10分	・低学年は「学校からの課題」中心で学年が進むにつれて「学校からの課題」と「自主学習」
風連下多寄小	毎日 学年×10分	・低学年；宿題中心＋家庭学習 ・中学年；宿題＋家庭学習 ・高学年；家庭学習中心＋宿題
東風連小	毎日 (土・日はどちらか) 2年；30分 中学年；40分 高学年；50分	4～6月；課題 7～8月；課題＋家庭学習 9月～；家庭学習

<中学校>

学 校 名	時 間	内 容
名寄中	毎日 1年；1～2時間	宿題や自主的な課題
名寄東中	毎日 1年；1～2時間 2年；1.5～2.5時間 3年；2～3時間 テスト前は4時間	宿題＋予習・復習
智恵文中	毎日 全学年；2時間	宿題や自主的な課題
風連中	毎日 1年；1～2時間 2年；1.5～2時間 3年；2～3時間	1・2年；宿題＋家庭学習 3年；課題＋家庭学習

一部の学校の実践例を紹介します。

< A小学校 >

- ① さあやってみよう家庭学習（児童用）
- ② 家庭学習の手引き（保護者用）

< B小学校 >

- ③ 家庭学習の手引き（保護者・児童用）

< C小学校 >

- ④ 家庭学習計画表

< D中学校 >

- ⑤ 家庭学習の手引き（保護者用）

*詳しくは別添のデータをご覧ください、参考にしてください。